

[成果情報名] カワウ繁殖抑制技術の改良

[要約]簡易に作成できる紙粘土擬卵の開発により、擬卵作成時間と経費の削減が可能になる。着色擬卵が従来の擬卵同様使用できることが明らかとなり、繁殖抑制の確認作業が容易になる。モニタリングにより山梨県内のカワウ個体数は減少傾向であることがわかった。

[担当] 山梨県水産技術センター・増殖スタッフ：谷沢弘将

[分類] 技術・普及

[課題の要請元]山梨県漁連

[背景・ねらい]

山梨県はカワウ対策の先進県であるが、カワウ個体数管理のためには継続した対策が必要である。擬卵置き換えによる繁殖抑制は効果的な手法であるが、経費がかかり高度な技術も必要であることから、更なる効率化が求められている。そこで、紙粘土を用いた簡便な擬卵作成方法及び着色擬卵による繁殖抑制作業の効率化についての検討を行う。同時にモニタリング調査を実施することで、県内のカワウ個体数管理の効果検証を行う。

[成果の内容・特徴]

1. 紙粘土で擬卵を作成することで、従来の石膏擬卵と比較して大幅な作成時間の短縮ができる（表1）。
2. 擬卵1個作成するのに石膏が79円であるのに対し、紙粘土では55円と安く、作成経費が削減できる（表1）。
3. 紙粘土擬卵は精巧ではなかったものの、石膏擬卵と同様な効果（ χ^2 検定, $p>0.05$ ）を有している（表2）。
4. カワウは蛍光橙色と灰色に着色した擬卵を、石膏擬卵と同様に抱卵した（ χ^2 検定, $p>0.05$ ）。着色卵を用いることで巣内確認作業が大幅に時間短縮され、繁殖抑制作業の効率化が可能となる（表3）。
5. 年変動はあるもののカワウ飛来数は低位安定し、個体数は2009年より減少傾向であったことから、カワウ個体数管理は順調に実施されている（図1）。

[成果の活用上の留意点]

特になし。

[期待される効果]

カワウの繁殖抑制作業が効率化、簡易化され継続的対策や新規習得が容易になる。

[具体的データ]

表1 紙粘土による擬卵作成の効率化と経費削減

	1シーズン分(600個) の作成時間	1個あたり の単価
石膏擬卵	20日	79円
紙粘土擬卵	6時間40分	55円

表2 擬卵の種類による置き換え成功率

	擬卵 種類	置き換え巣数	成功巣数	置き換え後 抱卵放棄巣数	成功率 (%)
2013	石膏	120	115	5	96
	紙粘土	13	13	0	100
2014	石膏	75	70	5	93
	紙粘土	35	32	3	91
2015	石膏	19	19	0	100
	紙粘土	50	46	4	92

表3 石膏擬卵（対照区）と着色擬卵の置き換え成功率

	置き換え巣数	成功巣数	置き換え後 抱卵放棄巣数	成功率 (%)
石膏	19	19	0	100
橙色	9	9	0	100
灰色	20	18	2	90

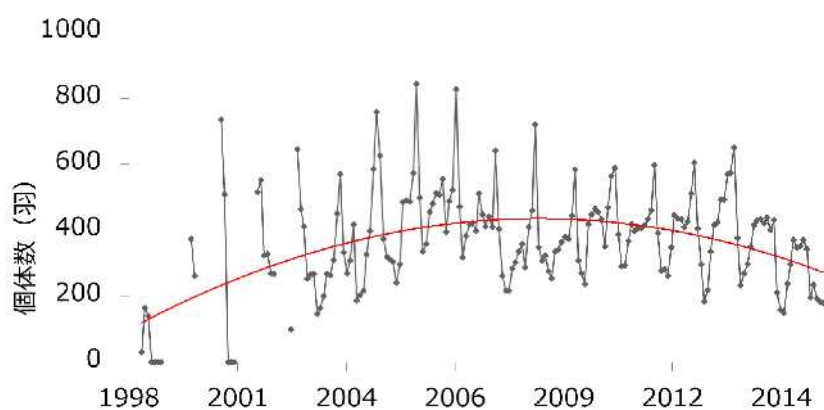


図1 山梨県下曾根コロニーのカワウ個体数推移

[その他]

研究課題名：カワウ対策に関する研究

予算区分：県単

研究期間：平成25年から平成27年度

研究担当者：谷沢弘将